

病害虫発生予察注意報第 4 号

佐賀県

作物名：ブドウ
病害虫名：黒とう病

1) 注意報の内容

発生地域：県内全域
発生量：平年より多い

2) 注意報発令の根拠

- 7月上旬の調査では、発生葉率は 4.6%（(参考)平年値：7月下旬 0%）であり、平年より発生葉率が高くなっており、多発生圃場も認められる（図 1、表 1）。
- 福岡管区気象台の九州北部地方における 1 ヶ月予報（7月4日～8月3日）によれば、平年に比べ曇りや雨の日が多い見込みであり、本病の発生に好適な条件となっていることから、今後多発する恐れがある。

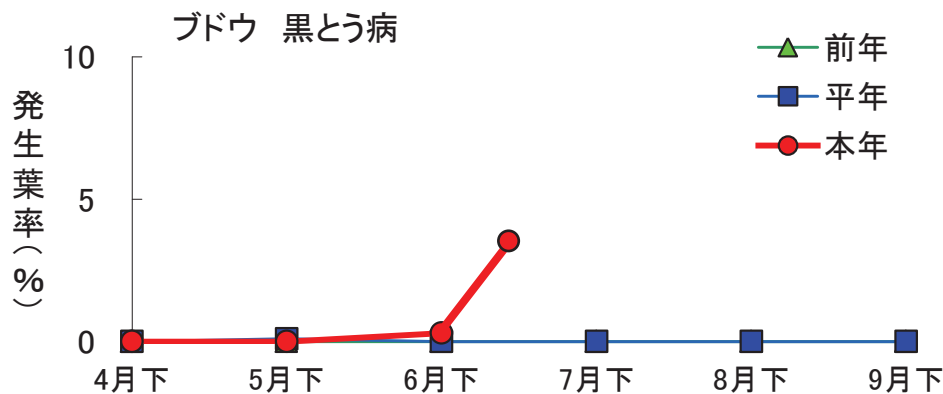


図 1 巡回調査におけるブドウ黒とう病の発生葉率の推移
注) 7月上旬は臨機調査結果

表 1 ブドウ黒とう病の発生状況(平成27年7月6～7日調査)

地点名	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	平均
発生葉率(%)	3	0	0	0	4	8	0	0	36	0	0	4.6

3) 防除上注意すべき事項

- 表 2 を参考に薬剤防除を徹底する。
- 発病した枝（写真 1）の剪除と巻きひげの処分を徹底する。
- 枝葉の徒長や晩期伸長しない肥培管理を行う。
- その他、防除の詳細については「[平成27年度 施肥・病害虫防除・雑草防除のてびき<水稲・大豆・果樹・茶> \(P340～342\)](#)」を参照する。

表2 ブドウ黒とう病の主要な防除薬剤^{注1)}

薬剤名	希釈倍数	収穫前日数	使用回数
アミスター10フロアブル	1,000倍	収穫30日前まで	3回以内
ストロビードライフロアブル	2,000倍	収穫14日前まで	3回以内
マネージDF	4,000倍	収穫21日前まで	3回以内
ボルドー液	※ ^{注2)}	—	—

注1) 表中の薬登録情報は平成27年7月8日現在のものであるため、薬剤の使用にあたっては必ず最新情報を確認する。

注2) ボルドー液については、商品によって希釈倍数が異なるため、薬剤の使用にあたっては登録情報を確認する。



写真1 露地ブドウに発生した黒とう病